

- 問1 富山県は、年間降水量が約2374mmと全国平均（約1662mm）を大きく上回り、周囲を標高の高い山々に囲まれています。このような自然条件が、電力消費の激しいアルミニウム工業の発展にどのようにつながったか、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
- 急峻な地形と豊富な雪解け水を利用した水力発電により、安価な電力が得られたため
 - 山間部でアルミニウムの原料となるボーキサイトが大量に採掘され、輸送コストが抑えられたため
 - 日本海沿岸の港を通じて、海外から安価な石炭を輸入し大規模な火力発電を行ったため
 - 冬の積雪による低温環境を利用して、工場内の精密機械の冷却コストを大幅に削減できたため
- 問2 愛知県の製造品出荷額の内訳を見ると、軽工業や化学工業に比べて重工業の割合が非常に高いことが分かります。このような産業構造が形成され、長年にわたり愛知県が工業出荷額日本一を維持している主な理由として適切なものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）
- 自動車を中心とする輸送用機械などの組み立て産業と、その関連企業が県内に集中しているため
 - 時計やカメラなどの付加価値が高い精密機械工業が、県内全域で均等に発展しているため
 - 製鉄所や石油化学コンビナートが海岸沿いに集中し、原材料の輸出を主目的としているため
 - 伝統的な繊維工業が近代化し、化学繊維から最先端のプラスチック製品製造へ移行したため
- 問3 北陸新幹線の延伸・開業のように、大都市と地方を結ぶ交通網が発達した際、その地域の観光産業に与える影響を説明したものとして正しいものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
- 交通網の整備により、地方の特産品がすべて都市部で生産されるようになる。
 - 地域固有の景観よりも、駅周辺の近代的なビル開発のみが観光の目的となる。
 - 移動時間の短縮により、日帰り可能な圏が拡大し、新たな観光需要が創出される。
 - 新幹線は貨物輸送を優先するため、観光客の移動手段としては限定的な役割になる。
- 問4 愛知県の工業に関する統計において、1960年から2014年にかけて工場の数にあたる事業所数は減少している一方で、製造品出荷額は1.4兆円から43.8兆円へと劇的に増加しています。この変化の背景として、2014年時点で出荷額全体の約7割を占めるまで成長し、愛知県の経済を支えている工業分野を次の中から選びなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）
- 古くから地域の経済を支えてきた伝統的なせんい工業
 - 全国的な需要拡大に伴い事業所数が増加した木材・木製品工業
 - 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業
 - 沿岸部のコンビナートで発展した基礎素材を作る金属工業
- 問5 山梨県の甲府盆地周辺では、ぶどうや桃などの果樹栽培が全国的にも有名です。このように盆地において果樹栽培が発達した理由を、地形的・気候的な背景から説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）
- 盆地の平坦な中央部は保水力が非常に高く、常に湿潤な気候が保たれるため果実の成長に有利だから。
 - 盆地は標高が高いため夏でも冷涼であり、害虫の発生が少ないことから大規模な果樹園を作りやすいから。
 - 盆地の縁に形成された扇状地は水はけが良く、内陸のため降水量が比較的少なく日照時間が長いから。
 - 盆地特有の地形によって季節風が遮られ、年間を通じて温暖で多雨な気候が維持されるから。
- 問6 中部地方の福井県に位置する若狭湾や、石川県の能登半島の一部では、山地の谷に海水が入り込むことで、小さな岬と湾が連続する複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような海岸地形の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）
- 海岸平野
 - 三角州
 - 砂州
 - リアス海岸
- 問7 冬の降水量が目立って多い日本海側の地域や、夏から秋にかけて降水量が増える太平洋側の地域と比較して、冬の気温が氷点下まで下がりやすく、かつ年間の降水量がこれら2つの地域よりも大幅に少ないという特徴を持つ甲府盆地などの地域に当てはまる気候区分を選択してください。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- 中央高地の気候
 - 南西諸島の気候
 - 北海道の気候
 - 瀬戸内の気候
- 問8 名古屋市の製造品出荷額の構成を示した統計において、約36%を占める電気機械に次いで、出荷額全体の14%を占めている工業分野があります。人口が集中する大都市としての消費需要を背景に、名古屋市内で発達しているこの工業分野は何ですか。（2018年 福島県公立入試 類似）
- パルプ・紙工業
 - 窯業・土石製品工業
 - 非鉄金属工業
 - 食料品工業
- 問9 中部地方9県の農業産出額を比較した際、愛知県や静岡県などのように上位品目の割合が分散している県がある一方で、新潟県や富山県、石川県、福井県といった県では、一つの品目の産出額が全体の過半数を占める傾向にあります。これらの日本海側の県において、産出額が突出して多い品目はどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
- 米
 - キャベツやレタスなどの野菜
 - 豚や鶏などの畜産物
 - ブドウやモモなどの果実
- 問10 静岡県周辺の太平洋沿岸部において、冬でも気温が5度を下回らない日が多く、比較的温暖である理由として最も適切な説明はどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- 暖流である対馬海流の影響を受け、冬でも湿った空気が流れ込みやすいため
 - 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため
 - 一年中吹いている偏西風が、大陸の暖かい空気を絶えず運んでくるため
 - 標高が低く日照時間が短いため、放射冷却が起こりにくいから
- 問11 ある県の工業統計を確認すると、製造品出荷額において「輸送用機械器具」が26兆円を超え、圧倒的な規模を誇っています。この県に関する説明として正しいものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
- 内陸部に位置し、涼しい気候を利用した野菜・果実栽培が盛んな長野県である。
 - 日本海側に位置し、米の産出額が農業全体の約6割を占める新潟県である。
 - 中京工業地帯の中核に位置し、自動車の生産額が非常に多い愛知県である。
 - 京浜工業地帯の一部をなし、精密機械の出荷額が国内最大級である長野県である。
- 問12 日本の農産物の生産統計において、茶の生産量が第2位の鹿児島県、第3位の三重県を抑えて全国第1位（2019年時点）となっている県名と、その県で大規模な茶園が営まれている代表的な台地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2022年 大分県公立入試 類似）
- 京都府 — 宇治
 - 静岡県 — 牧之原
 - 鹿児島県 — シラス台地
 - 福岡県 — 八女
- 問13 長野県を中心に位置し、3000メートル級の険しい山々が連なることから「日本の屋根」とも称される、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈を合わせた総称を選びなさい。（2024年 長野県公立入試 類似）
- 越後山脈
 - 奥羽山脈
 - 日本アルプス
 - 中国山脈